



No. **7**

発行者 沼津市商工会
 会長 松永公良
 〈本所・原支所〉沼津市原1200番地の1
 TEL (055) 966-1331 FAX (055) 967-4925
 〈戸田支所〉沼津市戸田1028番地の5
 TEL (0558) 94-2224 FAX (0558) 94-4029
 編集 沼津市商工会広報委員会



9月7日 原地区校区祭にて

「ご近所づきあい」のすすめ



原地区コミュニティ推進委員会
事務局長 林 英彦

原地区にコミュニティ活動の拠点となる「原地区センター」が開館して早十年が過ぎました。地域住民の心豊かな交流と相互の信頼・協力により「住みよい町づくり」を指して、私共「原地区コミュニティ推進委員会」は活動を繰り広げております。

最近の報道を見ると、暗い話題が多いように感じます。食品表示の偽装や児童虐待、高齢者介護や医療問題など枚挙にいとまがありません。TVや新聞など、その問題を大きく取り扱う時、世相全体が暗いものと錯覚しがちな傾向にある事も否めません。

しかし、その一方で明るい社会を目指して頑張っている取り組みも多くあります。現

在、原地区では「防犯まちづくり推進協議会」という組織が三年前より活動を始めました。各自治会はもとより、学校PTA・子ども会・青少年健全育成・地域安全推進員等の方々が、コミュニティ活動の一環として互いに協力して防犯パトロールやスクールガード活動を積極的に実施しています。「地域は地域が守る」の実践を通じてコミュニティ活動が結実したものと感じております。

「お互いに干渉しない。」ことを口実に近所づきあいや、自治会活動の面倒から逃れようとする風潮が、陰湿な事件や若い世代のマナーを衰退させる一因になっていると私は時々感じます。

そこで提案します。毎日が家庭と会社を往復するだけのオヤジ族にとって、お祭りや地域のイベントは「地元デビュー」する絶好の機会です。近所や隣町までブラブラする日を設けて下さい。思いがけぬ「近所づきあい」が始まるかもしれません。

原地区校区祭



照り付ける太陽の下、二十
一の自治会が参加して校区祭
が九月七日に開催されました。
赤ちゃんを連れた女性から
孫の応援に駆け付けたお年寄
りまで、幅広い年齢層が競技
そして応援に汗を流しました。
そこには日頃の忙しさのあ
まり疎遠になっていた、自治
会長を頂点とする地域の連帯
感がありました。

競技前の選手の不安そうな
顔、歯を食いしばって走る姿
終わった後のさわやかな笑顔



女性部視察研修会

が観客に伝わって来ました。
例年になく暑かった夏も終
わり、秋の気配が忍び寄って
来そうです。
久保田 正彦

ようやく朝晩涼しくなった
九月十一日、女性部視察研修
会が行われた。今回初めて戸
田支所より五名の参加者があ
りました。

先ず、アメリカの港町をモ
チーフとした「三井アウトレ
ットパーク横浜、ベイサイド」
平日とあって人混みはなくサ

マーバーゲンを楽しみました。
食事はもとより素晴らしい
眺めの「横浜ロイヤルパーク
ホテル七十階でのランチバイ
キング」。
工場見学ではハイチュー、
小枝等チョコレートの製造を
主とした「森永製菓(株)鶴見工
場」、整理整頓・清掃が行届
いた中でのココアの香りが印
象的でした。
事務局

原地区敬老会

原地区の敬老会が九月十四
日、十五日と二日間に亘り原
地区センターで行われました。
来賓の祝辞や米寿の方への
記念品贈呈など式典が行われ、
皆さんお楽しみの演芸の部が
始まります。かわいい園児や
地元の方々の踊りや演奏、小
中学生の作文、森川正太さん
の歌謡トークショーと皆さん
拍手喝采です。最後の抽選会
も盛り上がり無事閉会。
手作りで大変だった敬老会
でしたが老人の一言がご褒美
でした。「ヤー楽しい一日だ
ったよ。役員の皆さんのおか
げだよ。今日はありがとう」

中嶋 國晴

夏まつり反省会

第三十一回原・浮島ふるさ
と夏まつりの実行委員反省会
が八月二十七日に開催され、
今回の感想と今後の課題につ
いて話し合われました。主な
ものを紹介します。
・東海大生には大変お世話に
なりました。彼らの就職活動
の際に役立つならば、「地域
活動功労証」等の検討をお願
いしたい。

・例年に比べ午後の客足が減
った様に思われる。花火打上
時も例年に比べ客数が少なく
思われた。夕刻に集客できる
何か欲しい。

・小学校グラウンドの利用法に
ついて再考が必要である。
・地域内において、同日開催
の納涼祭等を実施したところ
があり、担当部署での全員の
協力が得られずに統一が図ら
れなかった。

実行委員会では、寄せられ
た感想、意見をよく吟味し、
今後も地域に愛される夏まつ
りを目指し努力して参ります。
皆様のご支援、誠にありが
とうございました。

JAなんすん 原支店
みなさまの暮らしに、
安心と信頼をお届けします。
TEL(055)966-0600 FAX(055)966-0722

三島信用金庫 原町支店
ローンの御相談はさんしんへ
TEL(055)966-1511

沼津信用金庫 原支店
沼津市原町中3-13-23 TEL(055)967-6567
ホームページ・アドレス http://www.numashin.co.jp/

静岡銀行 原町支店
SHIZUOKA BANK
TEL(055)966-1010 FAX(055)966-8309

戸田支所だより

原・浮島地区の
観光資源視察



松蔭寺前でガイドさんと

九月十一日、戸田支所観光サービズ部会は、原浮島地区の観光資源視察研修を行いました。原浮島観光ボランティアアガイドの三溝さん、望月さん、松田さんの丁寧なガイドで原宿、松蔭寺、興国寺城跡、浮島沼アクアプラザ、西部浄化センターを視察しました。松蔭寺では、住職が直接、白隠禅師の生き様、偉大さを解説してくれました。部員は出世や私利私欲に惑わされず

生きなければと感心しました。北条層雲旗揚げの城、興国寺城跡では原浮島地区をパノラマで一望に見渡すことができ、この地形から人間と水のドラマを想像しました。浮島沼にはまだ水鳥や虫が生息し、富士山を背景に見るとまだ浮世絵の世界が残されていました。さらに西部浄化センター、東駿河湾環状道路、道の駅、沼川新放水路整備事業等の開発計画の説明も受けました。視察終了後には、原支所観光サービズ部会との交流会が行われ懇親を深めました。松蔭寺と興国寺城跡はお金をかけ整備すれば、有力な観光資源になると戸田支所観光部員は話しています。

今後の行事予定
10月14日(火) 11:00 戸田支所 戸田はんぺん試食会
11月 2日(日) 10:00 御浜岬 戸田さんさんまつり (産業祭)
11月 4~6日 第2回 田舎暮らし体験

おしゃまします 第五巻 シーホース

店主 堤具之さんは「つみ時計店」として出発しました。昭和五十三年に現在地に時計店を移転し、同時に二階にシーホース(居酒屋)を開業しました。最近まで昼間は時計店、夜は居酒屋と二束のワラジを履いていました。息子さん(幸成)が帰り、現在はシーホース一本で営業しています。幸成さんの奥さん(明子)は介護の仕事をしているので、主人と奥さん(悦子)と息子さんの三人で営業しています。今では若い幸成さんの考えで営業しており、具之さんはおとなしくしているそうです。

シーホースの特徴は幸成さんが横浜で六年間、居酒屋で働いていた経験から、食べ物やつまみがおいしいとの評判です。お客さんの七割は女性であることから、居酒屋というよりは食事処といった感じですが、家族で夕飯をシーホースでとる人も増えています。一方、



飲食店といえども、食事券(商品券)の発行、ポイントカード、福引イベント、四季折々のチラシ折込、生ビール三〇〇円(期間限定)、送迎サービス等販促にも手抜きはありません。今後の方針は、新しいメニューを次々に開発し、お客さんに何度も来てもらえる様にすることだそうです。戸田地区の将来については、年々人口が減少し、街に元気がなくなってきた感じがします。若い人が一人でも多くウターンしてきてほしいと語っていました。営業時間:十七時半~二十四時 定休日:毎週水曜日 電話 0558-94-3000

食中毒予防の決め手はあなたの手
沼津食品衛生協会 戸田支部
支部長 原田 晟
事務局 沼津市商工会 戸田支所
0558-94-2224
(担当 監物)

創業明治参年 味わいの宿
ときわや
高足ガニとエビカニづくしの磯料理
TEL 0558-94-3333
フリーダイヤル TEL 0120-04-1260
ホームページ http://.tokiwaya.info

企業の繁栄と社会貢献
沼津法人会 戸田支部
支部長 木村 稔
事務局 沼津市商工会 戸田支所
0558-94-2224
(担当 高田)



株式会社 大村興業
輝く職人さん
 佐藤 宏様

出かけよう!!

“東海大沼津キャンパスの建学祭”

原・浮島地区にとって、東海大は頼りになるパートナーであり、また、地域の自慢でもあります。皆さんにメッセージが届きましたので紹介します。

(商工会事務局)

『原・浮島ふるさと夏まつり』の時には微力ながらご協力させて頂いた、東海大学沼津学生コミッションですが、今度は主催者として11月2日と3日にかけて建学祭を行う事になりました。

今年の日玉は初の試みである打ち上げ花火で、3日の閉祭式後、沼津校舎のある山の上で花火を打ち上げます。3日は夕方に芸能人企画もあるので、是非最初から最後まで楽しんでください。

2日にも「沼津プロレス」の公演や、ライブなど見所のあるイベントを企画しており、模擬店や研究室発表も去年よりも大きく行う予定ですので是非、11月2日・3日は、東海大学開発工学部へ足をお運び下さい。

東海大沼津学生コミッション
 フェスタあしたか実行委員会
 委員長 沖山 永喜

(株)大村興業は昭和六十一年に創業して、プラスチック製品の製造やアッセンブリといった異業種から医薬品の分野に進出しました。

現在では化粧品や医療機器等幅広い分野で活躍しています。大手メーカーが得意な多品種少量生産、機械化が困難で人手の要する作業、短納期で製造を行わなければならない作業等を小回りの利くフットワークで対応しています。大手製薬会社を退職した勤続四年の開発室室長の佐藤 宏(六五)氏にお聞きしました。

大学では工業化学を専攻され、現在「コラーゲン製剤」の商品開発に携わっています。年を取るとともに身体や美貌が衰えていくのは当たり前なことですが、特に女性にとっていつまでも若々しい肌でありたいと願うのは当然のことです。「コラーゲン」を効果的に使用することにより見た目年齢が、五歳若返ると言われている大切な成分です。

来年の初め頃には凍結乾燥製剤として完成して店頭に並べられる予定とのことでした。

久保田 正彦

経営指導員便り

合併雑感

本年四月合併から、はや半年が過ぎた。当然予想されたこととはいえ、飛地合併という地理的なハンディを実感する。顔を合わせるには往復三時間が必要だ。

本・支所間にはネットワークが構築されており、日常の事務処理は支障なく出来る。しかし、デジタル上のやりとりには限界がある。やはり、接点の緊張感がないと物事の推進にはずみが見つからない。無駄なように思えるが、粘り強く行き来することが不可欠だ。

先日、研修会で講師からシヨッキングな話。極論だが、合併後は支所の廃止を検討しろという。また、地域振興事業は控え、もつと会員への専門的な指導に重点をおくべきだという。半分理解できる。合併効果はすぐには現れない。人と物と心意気の交流の連続が必ず成果を生む。

会員の皆様に、真に頼りにされる商工会を目指し、日々練磨しなくてはだめだ。HF

10月の行事予定

- 10月2日(木)から23日(木)までの
毎木曜日 簿記講習会
- 10日(金) 広報委員会
- 19日(日) サービス部会
視察研修会

ご利用下さい

本所玄関の横に飲料用自動販売機を設置致しました。

沼津法人会 原支部
**めざします企業の繁栄
 と社会への貢献**

2008~2009年度 国際ロータリーテーマ

夢をかたちに
 沼津西ロータリークラブ テーマ
 目指そー、増強と四つのテーマ

●沼津市商工会は青年部員(商工会会員事業所で年齢40歳未満)、女性部員を募集しています。詳細は商工会へお問い合わせ下さい。